

倶多楽火山

○大正地獄の熱泥水噴騰活動

6月中旬～7月上旬に起こった規模の大きな噴騰は急速に衰退し、これ以降は穏やかな噴騰が現在まで継続している。

7月以降の休止期間は10月に不規則になったものの約4日で、安定した状態が続いている。

この休止期間は、穏やかな噴騰が続いた2008年06～11月の休止期に較べて長く、また噴騰活動全期間を通して、長期間にわたって継続したこともないことから、噴騰活動が終息に向かいつつあることを伺わせる。

その反面、2010年末の日和山噴気温度は、依然として、135℃前後と高温な状態にあり、しばらくの間、噴騰活動は続くと考えるのが妥当であろう。

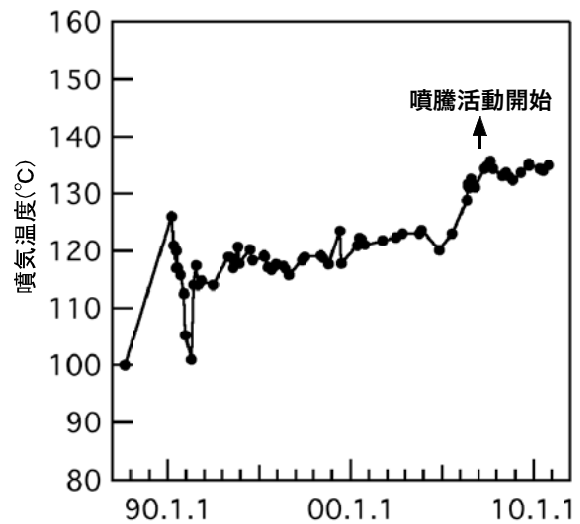


図1．日 和 山 噴 気 孔 温 度 の 経 年 変 化

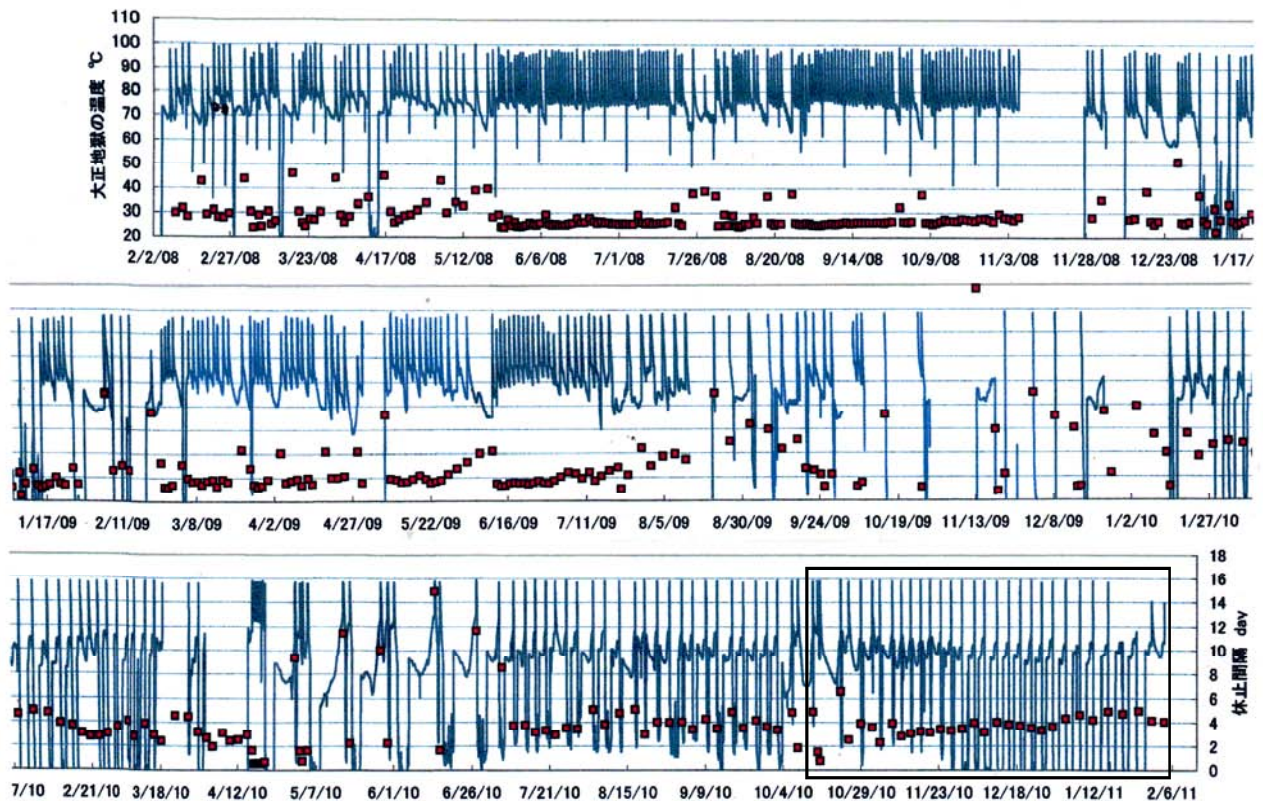


図2．大正地獄内の熱水温度(赤および青実線)と休止期間(赤四角)の時間変化. 青実線は底上方(満水面下3～5m)の温度(安孫子原図).

(安孫子・大島・前川)

倶多楽火山